

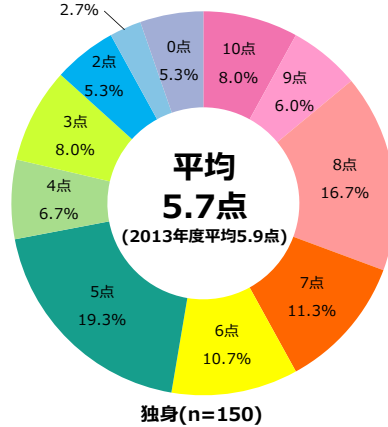
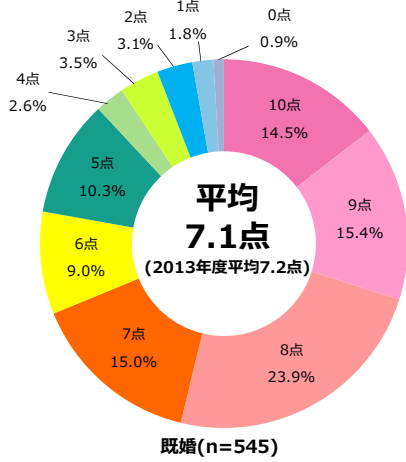
01 Woman's Trend

2013年と同じ！ 2015年を総括する一字、女性が選んだのは「偽」と「変」
社会の変わり目を感じ、不安が増した一年だった？

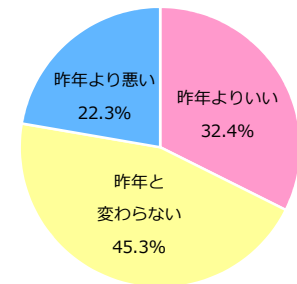
Q. 「今年の一文字」TOP10 (n=693)

順位	今年の一文字	票数
1	偽	32
2	変	31
3	幸	24
4	苦	16
5	忍	15
6	生	13
6	耐	13
8	爆	11
9	疑	10
9	迷	10

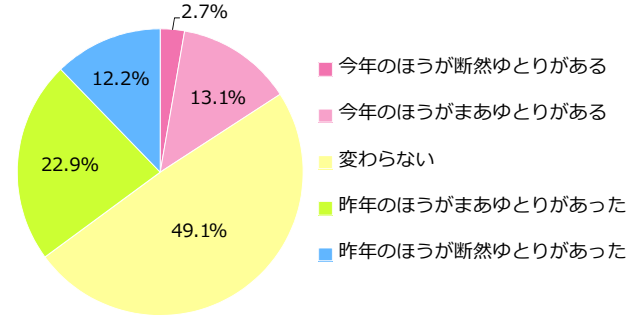
Q. あなたの家庭は今年、幸せだったと思いますか？
申し分のない幸せを10点満点としたら、何点つけますか？



Q. 左の表の点数は、昨年と比べていいですか？悪いですか？



Q. あなたの家庭の家計は、昨年と比べてゆとりがあったと思いますか？



2015. 11. 12~11. 15
女性を対象にWEB調査 (n=695)

少数派の「今年の一文字」

- 上**・生活用品の値上がりで低価格で買い物が出来ない。(36歳/広島県/既婚/パート・アルバイトワーク)
- 翔**・子育てであつと言つた一年だった。(30歳/石川県/既婚/フルタイムワーク)
- 縁**・福山雅治さんだけでなく結婚する芸能人が多かった。縁が続くといひです。(40歳/大阪府/既婚/フルタイムワーク)
- 初**・子供が産まれて初めてのことがたくさんあった。(41歳/神奈川県/既婚/専業主婦)
- 逢**・いろいろな人との出会いがたくさんあったから。(52歳/東京都/既婚/専業主婦)
- 数**・マイナンバーが導入されるから。(57歳/大阪府/既婚/そのほか)
- 恐**・戦争が近づいているような物々しさがある。(38歳/鹿児島県/独身/フルタイムワーク)
- 伸**・子供たちがそれぞれに、すごく成長した1年だと思うから。(39歳/大阪府/既婚/フルタイムワーク)
- 増**・消費税の増税や災害の増加、マイナンバーなど新しい制度が増えたこと。(30歳/群馬県/独身/パート・アルバイトワーク)
- 驚**・水害や殺人事件など驚く事が多かった。(50歳/大阪府/既婚/パート・アルバイトワーク)

2015年も大詰め、今年の一文字発表前に女性たちの一字を聞いてみたら、1番「偽」、2番「変」が僅差で並んだ。

実は2013年にも同じ調査をしているが、この時も一番多かったのが「偽」。食品の偽装表示問題が相次ぎ、「福島原発事故関連の嘘の発表や偽りの景気回復」という厳しい声もあったほど、2013年はダントツで「偽」だった。

2年後の2015年もまた、五輪エンブレム問題やマンションの杭打ちデータ偽装、東芝の不正会計、ドイツ車の排ガス規制逃れなど、ブランドへの信頼を失墜させる事件が印象に残った一年となってしまった。

一方で今年は「変」も同等に出現。マイナンバー制度や安保法案成立など社会の変わり目を感じる声と、子どもの進学や結婚など家族の変化を挙げる声も、ほぼ半々。今回の回答者の平均年齢が43.2歳と、変化が訪れやすいライフステージだということもあろうか。

「苦」「忍」「耐」より、「幸」が上にあるのが救い。家族が健康で平和だという、地に足のついた幸せを再認識する声が多かった。

家庭の幸せ感を10点満点で確認したのが上のグラフ。これも2年前と比較すると、既婚者、独身者とも平均点は下がった。相変わらず独身女性のほうが点が辛いのは、夫婦の絆や子どもの成長を文句なく幸せと思える既婚女性に比べて、個人の幸せを追求するとこんなもんだということか。

この点数が昨年と変わらないとする人が半数近くだが、昨年よりいいとする人が3割強で少し多かった。特に20代、30代の若い層で昨年よりいいという割合が多く、結婚したとか子どもが出来たという理由が多かった。

経済的なゆとりも昨年と変わらない人が半数近く。だが昨年のほうが良かったとする人が35%に上っていて、相変わらず「偽り」の景気回復らしい。(所長/植田奈保子)

02 Woman's Data

【女性のキモチ】

親の老後資金の不足の心配が上位に

全国の女性を対象に「親のお金・資産で心配なこと」を、全11項目挙げて聞いたところ、介護や病気治療などの資金不足、生活資金の不足を気にしている人がそれぞれ3割強。それらの心配事に対策していない人が9割弱と大多数で、その理由として「まだ対策する段階ではない」「どんな対策をすればいいかわからない」と答えた人が各3割強だった。

【親のお金・資産で心配なこと】※複数回答、上位項目抜粋

心配なこと	n	%
介護や病気治療などの資金不足	199	33.9
生活資金の不足	196	33.4
家・家財の管理、処分	162	27.6
お金・資産のことは心配していない	160	27.3
重要書類の管理	135	23.0
資産管理	126	21.5
相続	125	21.3
印鑑等の管理	84	14.3
保険(生命・医療)	76	12.9
介護保険	48	8.2

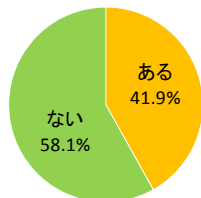
2015. 10. 01~10. 04 リビングくらしHOW研究所調べ
全国の女性を対象にWEBアンケート (n=587)

【OLのキモチ】

ダイエットでの体調不良を約4割が経験

妊娠力の低下や寝たきり予備軍の増加などが懸念され、社会問題化している「若い女性の痩せすぎ」。20代・30代のOLに聞くと、8割強がダイエット経験あり(n=288)。そのうち、ダイエットが原因の体調不良を感じたことがある人は4割強。その内容についての自由回答では、生理不順、無月経、肌荒れ、集中力の低下などが見られた。

【ダイエット経験者に聞いた、ダイエットが原因の体調不良の経験】(n=227)



2015. 10. 07~10. 12 リビングくらしHOW研究所調べ
全国の20代・30代OLを対象にWEBアンケート

03 Group Eyes

出展者も来場者も喜びを感じるイベント
「アート&ライフ マーケット」好評開催

リビング新聞主催のイベントの中でも屈指の人気を誇る「アート&ライフマーケット(※)」。今年も開催が集中する季節になった。11月には中野、たまプラーザ、昭島で開催、12月には横浜と相模大野で開催。ハンドメイド作品の展示・販売と協賛社のブースで今年も賑わいを見せている。

各地区、50組を超えるクラフトマーケットのブースが出演。「ビーズアクセサリー」「革小物」「きものリメイク」「粘土」「彫金」などなど、ハンドメイドと一口では語りつくせないほどの種類の多さと、想像を超えた秀逸な作品の数々に、会場に足を運ぶ読者の数も毎年増加している。

出展者側はアート作品を通して自分を表現する喜びを得られ、来場者側は気に入る作品に出会い、それを身に付けることで毎日をよりステキに過ごすことができる、というまさに「アート&ライフ マーケット」の目的がここにある。

出展者との作品に関するコミュニケーションも楽しみの一つであり、また一度作品を購入すると、今度は自分が何か作品を出展したくなる、というプラスのスパイラルも、このイベントが長く読者に支持され続ける理由だ。(サンケイリビング新聞社6C室)

※「アート&ライフ マーケット」の名称を用いない会場もあります

今後の「アート&ライフ マーケット」開催予定

2015年	12月7日(月)	相模大野
2016年	2月26日(金)	大宮
	2月29日(月)	吉祥寺
	3月14日(月)	柏

(名称は「かしわくフェスタ」)



11月18日開催の「中野どまんなかマルシェ」会場の様子